

令和6年産 品質・食味の良い「コシヒカリ乾田V溝直播」の栽培基準(射水市内)

- 射水市農業技術者協議会 ● 射水市
- JAいみず野 ● 富山県高岡農林振興センター
- 高岡地域農業共済センター ● 全農とやま

導入条件

- 乾田V溝直播栽培は、クローラトラクター、専用播種機および乗用管理機が必要であること、ほ場条件に左右されることなどから、条件を十分検討して、導入することが望ましい。
- 直播栽培するほ場は、漏生籾による異品種の混入を防ぐため、前年と同品種または転作あと田とする
 - 減水深の小さいほ場(畦塗り等で対応可能)
 - 周囲の移植田等からの浸水のないほ場(団地化が望ましい)
 - 湛水直播栽培では、カラス、カモ等の鳥害を受けやすい地域や倒伏が懸念される地域

ほ場準備(前年秋 10~11月)



播種時の土壌の硬さ

土壌の硬さの目安

- 足跡がつく程度
- △ 1~2cm程度しずむ
- × くるぶしまでもくる

播種を延期

種子の準備

種子量 乾籾 6~7kg/10a

処理: 風乾

ペリディウム
エヒゴシロアロアル
ルーティンシロアル

540kg/10a穫り収量稲成の目安

収量構成	目安
目標㎡当たり苗立ち数	150~200
㎡当たり最高莖数	500
㎡当たり穂数	340
平均一穂粒数	80
㎡当たり着粒数(百粒)	270
登熟歩合	85
玄米千粒重	23.5

施肥

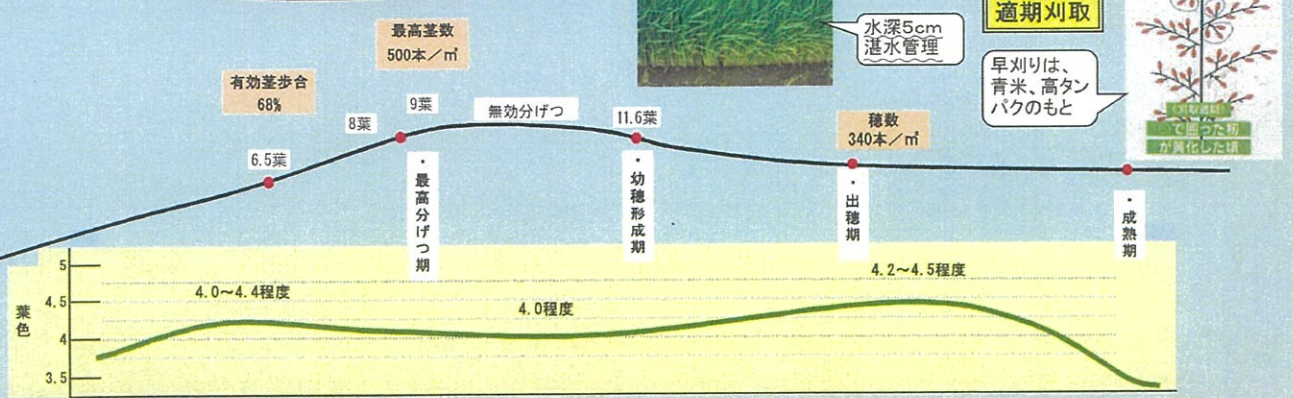
基肥量の遵守

1. ケイ酸(Si)、カリ(K)の補給
①(耕起前) 土壤改良資材散布(加里入りシリカエールプラス)100kg/10a
②(生育期) 追肥(6月下旬~7月上旬)(ケイ酸加里プレミア34)20kg/10a

2. 基肥量 (コシヒカリ:LPss乾田直播専用 N:40%) (kg/10a)

土壌区分	前作水稲	前作大豆	前作大麦	クワタラア跡
沖積半湿田~乾田壤土	2.0~2.2	1.2~1.4	1.5~1.7	1.3~1.5
沖積乾田砂壤土	2.2~2.4	1.4~1.6	1.7~1.9	1.5~1.7

コシヒカリ生育の目安



月日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生育期区分	播種期	出芽・苗立期	有効分けつ期	無効分けつ期	穂ばらみ期	登熟期	成熟期
水管理	播種後ほ場が乾いた場合は通水する 出芽の促進 稲体の活力維持(水持ちアップ)	イネ2葉が展開中で30~40本/mの苗立ちを確認したら速やかに入水	常時水深5cm以上の湛水状態を保つため、こまめに入水する			(落水を急がないように)	
栽培管理のポイント	<p><雑草防除①> ラウンドアップ マックスロード イネ: 出芽前 (播種後10日頃)</p> <p>薬量 500ml 希釈水量 50L</p>	<p><雑草防除②> カリンチャーハスME液剤 イネ: 1.5葉期頃 (播種後25日頃)</p> <p>薬量 1,000ml 希釈水量 100L</p>	<p><雑草防除③> デオレシ顆粒 →ノビエ3葉期まで アックスMX1キロ粒剤 →ノビエ4葉期まで</p> <p>アコロールキロ粒剤 →ノビエ3葉期まで</p>	<p>畦畔一斉 草刈り 7月上旬</p> <p>追肥 葉色低下した場合</p>	<p><基本防除①> ビームエイトスタークルソル 散布時期: 出穂直前</p> <p><基本防除②> ラブサイドK2フロアブル 散布時期: 穂摘期</p>	<p><次年度予定ほ場の準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壤改良資材の散布 ・ 耕起 ・ 代掻き ・ 溝切り 	

※ 圃辺田への飛散に注意! ※ ヒエやイボクサが多発ほ場は特報等を参考に除草剤を選定して下さい。

イネ2葉展開 入水時期 イネ2葉展開

苗立数 150~200本/㎡ (30~40本/m)

水深5cm 湛水管理

適期刈取 早刈りは、青米、高タンパクのもと

雑草防除④草が残ったら... イボクサ

病害虫同時防除 イネツトムシ 発生を確認したらすみやかに防除